

様式（第 8 条関係）

審 議 結 果

次の審議会等の下記のとおり開催した。

審議会等の名称	令和 5 年度益田市学校給食共同調理場運営委員会
開催日時	令和 6 年 3 月 1 2 日 (火) 13 時 30 分から 14 時 30 分まで
開催場所	高津学校給食センター 会議室
出席者	片野陽子副委員長、大橋大委員、田村嘉久委員、田城昇委員、宮内健臣委員、竹田広樹委員、橋本秀治委員、西田裕美委員、大崎弘康委員、本田行信委員、田原正紀委員
議題	議案については、審議経過のとおり
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0 名
審議経過	益田市学校給食共同調理場事業について審議を行った。 1 令和 5 年度事業報告（承認） ① 栄養教諭活動報告 食の指導 195 回 ・近年の新しい取り組みとして、生産者への取材内容を給食だよりに掲載することや翔陽高校との連携などがある ・鰻一匹を給食に出す取組を近年続けている。 ② 地産地消率 66.19%（主食含む。2 月末現在） ・R4 は野菜の病気やタイミングがずれて地産地消率が下がっていたが、R5 は例年並みまで戻った。 ・コロナの交付金を使って益田産の牛肉を給食に使用する新しい取り組みも行った。 ② 異物混入 高津 40 件、美都 6 件（2 月末現在） ・年々減少傾向にある。調理前、調理中など学校に届く前に発見する例が増えている。 3 令和 6 年度益田市学校給食に関する全体計画（承認） 世界/全国味めぐり献立の実施 （毎月、世界各国または日本各地の料理を給食提供） 4 その他 ・給食だよりについて、給食ででたメニューの作り方や生産者への取材など面白い内容があって良いが、児童生徒への周知がさらにあると良い。 ・福岡でウズラの卵での窒息事故があったが、益田市では継続して提供を続ける見込みである。よく噛んで食べるように指導を続けていく。 ・食材の値上げが続いており、保護者負担分だと赤字の現

	状が続いている。現状を保護者に周知することも大切ではないか。
問合せ先	教育部教育総務課 電話 31－0441